

# 説き構造

歴代志下20章 1～30節2

目標: 神の「聖」の特徴をつかもう。  
 聖句: 「聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、万軍の主、その栄光は全地に満つ」イザヤ6:3  
 時間: 10分  
 道具: ホワイトボード、ペン、  
 対象者: 小4×1 小3×1 小2×3 小1×0 未就園児×7

段 階	時間	教師から	子どもの反応	備考
課題確認	2分	・「聖」という字は、どんな言葉に使われていますか。	・聖書 ・聖歌 ・高野聖 ・聖人	・テーマをつかむための問い。 ・いろいろ上げさせる中で、「聖書」など、神にまつわる言葉が出ればよい。 ・参加者全員に聞いてよい。 ・ねらう言葉が出なければ、こちらから提示してよい。
		・「聖」に込められている意味は何? ・「神さまの」という意味です。		・問うだけで子どもたちの反応はとらない。
		・イザヤは、「神さまは『聖』なる方」と呼びました。 ・「神＝聖」ということです。		・聖書箇所が板書してあると明示しやすい。 ・「神＝聖」と板書する。
課題探求	6分	・本日の箇所から聖の特徴を考えよう。 ・聖書朗読を聞きながら情景を想像してみてください。		・1～8節までを、丁寧に朗読する。朗読はあらかじめ練習し、抑揚などもチェックして、聞く側が情景を想像しやすいように努める。 ・イラストは、情景を想像する助けになる。 ・イラストは、できるだけ大きい方がよい。
		・神さまの聖さには、どんな特徴があると思いますか。	・怖い ・すごい ・セラピムって何?	・回答を求めると、実際上返答はなくてよい。 ・問いかけることで、考えさせたい。 ・畏怖すべきものという類の返答が出るような朗読が望ましい。 ・イザヤの変化に焦点を当てると特徴をつかみやすいだろう。 ・的外れな回答が出てかまわないので、とにかく挙げさせる。
		補助質問 (イザヤが5節のように言ったのはなぜ?) 補助質問 (イザヤが8節のように言ったのはなぜ?)	・神さまの聖さに触れたため ・神さまの聖さを伝えたくなったから	・子どもからこの回答は出ないと思われる。 ・時間との兼ね合いで教師側が提示する。 ・子どもからこの回答は出ないと思われる。 ・時間との兼ね合いで教師側が提示する。
		7節には、神さまの聖さは、罪を取り除くことが示されています。		・5節、8節の後、教師から、追加で提示する形で、子どもたちに示す。 ・子どもたちが小さい場合は、身近な例を挙げて理解を助けたい。
まとめ	2分	課題の答えをまとめる。 神さまの聖さは、私たちにどういう働きをしますか。	・罪を知らせる働き ・罪を解決する働き ・神さまを伝えたい(働き)	・課題探究部で、板書していると入りやすい。 ・子どもたちから出てくるのが望ましいが、でなさそうであれば、教師側からの提示で構わない。 ・もし時間と子どもたちの理解力に余裕があれば、教師から、きよめの証(罪が焼きよめられ、宣教や生活の姿勢が変わった経験)を提示すれば、子どもたちにより鮮明な印象を与えることができるだろう
		この聖い神さまに信頼していきましょう。 暗唱聖句		181号テキスト全体のテーマからの反映